

心が通じる場



暑さ忘れても思い出は忘れずに

まがたま

令和5年 8月 第139号
社会福祉法人上口福祉会
障害者支援施設まがたま
〒699-0201
松江市玉湯町玉造1649-2
TEL0852-62-2535
FAX0852-62-2586

8月8日(火)まがたまの夏といったらこのお祭り!「サマーフェスティバル」を今年もきずな棟芝生広場にて行いました。ご家族様、地域の方々、法人施設の方々などをお招きしての開催は約3年ぶりとなりました。参加されるみなさまに、まがたまの夏の思い出を作ってもらいたい!という思いから、行事委員会を中心に、職員で準備を進めて参りました。開催前には、ステージの出し物の練習や、七夕短冊に願いを書いて飾ったり、毎年恒例炭坑節に向けた練習も行いました。



いよいよ当日、真夏の晴天の中、行事が始まりました。屋台には焼き鳥、フランクフルト、かき氷、更にバイキングもあり美味しい物が目白押しでした。また、ステージ演出ではこの夏にぴったりなまがたまフラダンス、カラオケ大会、浴衣コンテストなど見所も満載でした!空が暗くなり、提灯の灯りがつき祭りはクライマックス。締めには、炭坑節で盆踊りを踊ったり、花火大会も行いました。会場にはたくさんの方々が笑顔で咲き誇り、今年の夏の素敵な思い出になりました。(広報委員長 錦織優気)



行事を通すことによって、人との繋がりの大切さに気づけるのではないかと感じました。ご家族様、利用者様、地域の方、職員。さまざまな繋がりがあります。その中でも、利用者様とご家族様との繋がりは最も重要なのではないのでしょうか。ご家族様と一緒に過ごし、屋台の食べ物をお食事をされ、利用者様も楽しんでおられ、大変意義深い時間となったと思います。祭りの最後には、打ち上げ花火が上がります、とても綺麗でした。みなさまが楽しく祭りに参加しておられ嬉しく思いました。(広報委員 小室唯奈)

味と腕に感動

～そば打ち実演～



土用の丑の目を目前に控えた7月28日、うなぎとそばを堪能しました。この日はたんぼぼ、ひまわり、こすもす、園芸班の合同で実施!きずな棟は大賑わいでした。タレをたっぷり塗り込んだうなぎは炭火で焼き、ご飯に乗っけてうなぎ丼でいただきました。そばはなんと、園芸班の恩田職員の手打ちそば!ノウハウを知り尽くし、本格的な道具を使いこなした職人技に、職員も利用者様も釘付けでした。味はいうことなしのおいしさです。(広報委員会 松岡隼矢)



苦情受付

今回は苦情が1件ありました。兄妹の学校へ無断で入り、妹様や周囲の目に触れた。これらの苦情につきましては、ご本人やご家族様へ、経緯や原因をお話させて頂くと共に、今後の対応についてご説明させて頂いたいただき、ご理解頂きました。今後も、みなさまからの苦情やご要望を真摯に受け止め、安心安全な施設づくりの努めを参ります。

支援の輪、広げる



班長 野津洋子

この度、中国・四国地区知的障害関係施設職員研修協議会に参加させて頂きました。この研修で学んだ事は、どんな重度の利用者様にも意思がある、しかしその意思はなかなか私達に伝わらず分かってあげられない事がある。一生懸命分かってもらう事が大事で、その思いは必ず利用者様にも伝わり信じています。障害がある利用者様とかかわりがあるからこそ、私たち感性は磨かれていくのだと感じました。自分の人生の中のほんの一部かも知れませんが、まがたまの利用者様との出会いに感謝し、これからもより良い支援をしていきたいと思えます。(班長 野津洋子)



生活支援員 小泉拓也

この研修では、大きく4つの内容に分かれて講演等が行われていました。障がい者虐待を事件として初めて取り上げた事例、怒りのコントロール、当事者家族目線の新たな取り組み、意思決定支援。これらすべてに共通して感じ取れたのは、チームの大切さです。利用者様に、施設職員以外にもいろいろな人が関わっている福祉という仕事において、支援者は1人ではない、というフレーズが、ずっと頭に残っています。全体としての支援の輪を広げていき、いろいろな人との関わりを大きくすることで、お互いにとっていい環境は生まれるのだと感じました。(生活支援員 小泉拓也)

編集後記



QRコード

松浦洋治 石田裕雅 小室唯奈 土江和輝
錦織優気 桑原奈々 松本啓介 今井宏幸 松岡隼矢



当広報に掲載された写真につきましては、プライバシーに配慮し、予め、掲載の同意を得ています。

世界の踊りを

～新しい扉を開く～



▲バリ舞踏



▲ダジャン踊り

みなさま、ミンガラバーバー！ミンマー語で「こんにちは」という意味です。挨拶のときに、使ってみてはいかがでしょう？
さて、この度ミンマーのお正月（4月）に一年の厄を洗い流すためお互い盛大に水を掛け合う祭り「ダジャン祭り」を踊りました♪衣装もミンマーの方に作ってもらいました。リズムをとりながら歌の意味を手で表現しています。
みなさまも一緒に踊りましょう♪
(生活支援員 シェーイー&シヨン)



▲フラフラザース結成!



▲フラダンス

みなさま、アロハー！恒例のハワイアン・フラです！今回は男性を交えての華やかなステージとなりました。髪飾り、葉っぱの衣装は、百均アイテムで作りました。素敵に着こなして踊ってくださいました♪
男女問わず、ステージで踊ってみたい方はぜひ！新しい扉を開いてみませんか？
みんなで一緒に楽しみましょう♪
(看護師 錦織里佳)

心踊る太鼓の音



放課後等デイサービスで、夏休みを満喫中の児童さん。いつも楽しそうに笑い声が聞こえてくるこの場所から、この日は祭ばやしも聞こえてきました。心踊る太鼓の音に誘われ訪れると、はっぴを身にまとった児童さんがお出迎え！
射的屋さん、かき氷屋さん、ポールすくい、どの屋台も全て児童さんによる手作り。「いっしょにやいませー！いかがですかー！」と、大将さんの元気な掛け声に、屋台に寄らずにはいられません！
児童さんが協力して作り上げたこの縁日。毎日暑い日が続くバテしてしまう日もある中、利用者さん、職員も児童さんから元氣とパワーをもらった一日でした。
(広報委員 松岡隼矢)

かき氷とすいかで「涼」を感じていただきました。シャキシャキでみずみずしいすいかを「甘くて美味しー！」と召し上がっておいしかったです。すいかの種類は黒い縞模様の下にあるそうです。ほんとはどうでしょう？
電動のかき氷機で氷を削り、大きな音と共に氷が削られていく様子を楽しそうに見ておられました。シロップは王道のイチゴ・レモン・ブルーハワイの中からお好みの物を選んでいただきました。舌に色が付いたのを鏡で確認される方もおられました。
日中とても暑かったので、少しでも涼しさを感じられるように打ち水をしました。効果は…あった気がします。
(生活支援員 景山瑞穂)

シャリシャリ食感

～カラフルな色～



お腹いっぱい！

好きなものを選んで



施設では8月8日に利用者様、職員ともに楽しみにしているサマーフェスティバルが開催されました！新型コロナウイルス感染症で様々なイベントが縮小されてきましたが、今年は家族様もお招きし、みんなで楽しめるお祭りになりました。
バイキングでは夏祭りや屋台を彷彿させる、焼き鳥、フランクフルト、たこ焼きなど普段とは一味違うメニューで利用者様にも喜んで頂く事ができました。
暑さが続く中での祭りということで、スイカやメロンなどフルーツも人気でした。
夏真っ盛りですが、沢山食べて乗り越えていきましょう！みんなの素敵な夏の思い出になりました。
(管理栄養士 川西美希)



▲屋台をイメージした豪華メニュー



涼を感じる吹き流し

～日本の夏！まがたまの夏！～

さて8月7日は、旧暦の「七夕」、山陰地方では、この旧暦の七夕に、七夕飾りやお供えなどを込めています。当施設では、利用者の方々と職員が「夏」と「七夕」をイメージして、色とりどりの吹き流し飾りを製作しました！
まがたま神社が鎮座する、小高い山の上から、広い芝生広場に向けてたなびく壮大な七夕飾りが本日お目見です！
見ごたえのあるこの設備！これも職員の手作りです。生産グループとまと班が担当し、見る私たちを魅了します。
また芝生広場は、遠くに宍道湖が見え、最高のロケーションです！酷暑が続きます。皆様どうぞお身体ご自愛ください。
共にこの夏を乗り切りましょう！共にこの夏を楽しみましょう！
(課長 松本啓介)



朝に喜びを

花がくれる「おはよう」の挨拶



毎年たんぼぼ班、ひまわり班ではこの季節になると、活動場所のだんだん工房の周辺に朝顔と夕顔を植えています。
今年は通路にツルをはわせて朝顔・夕顔のアーケードをイメージしてみました。毎朝このアーケードを通して皆さん活動場所に移動されています。
朝顔の花言葉は愛情、結実、明日もさわやかになどの意味があります。ご利用者様と共に水やり・肥料をあげて育て、やがてツルが伸び、蕾から花を咲かせる喜びを感じています。
普段の緊張や困りごとでこわばっておられても、ふとしたタイミングで水を上げておられます。その姿には素敵な笑みがあります。
(生活支援員 松坂正之)